

令和5年度 西脇市連合区長会区長研修会・男女共同参画推進研修会

◆2月8日研修会

日時 令和6年2月8日(木) 19:00~20:45

会場 西脇市市民交流施設オリナスホール

ファシリテーター	生涯学習応援隊so-so.39代表	きたむら	久美子さん
事例発表者	丹波市吉見地区自治振興会事務局長	荒木	裕一さん
	丹波市市島町市島自治会	荻野	美恵子さん
登壇者	西脇市連合区長会会長	臼井	茂樹さん
	西脇市芳田地区自治協議会副会長	足立	八束さん
	西脇市まちづくり課課長	藤原	広三
	西脇市男女共同参画センター所長	赤松	たまゑ

①西脇市の女性活躍の現状について

【西脇市男女共同参画センター】

- ・令和4年度に自治会アンケートを実施。その結果、主要な役員の女性登用率は2%。役員選出対象者に女性の名前がない。理由は「女性を選ぶことを想定していない」など、昔からの慣例や思い込みがあると想定される。女性が役員に就く良さとして、「自治会運営に多様な視点が生まれ、活動に広がりが出る」など、前向きな意見は多く女性への期待は大きい。男女双方の意識を変えないと、何も変わらない。意識をかえて、みんなで参画していきたい。

【きたむら久美子さん】

- ・自治会に女性役員が少ないのは、世帯主で構成されているからで、西脇市に限ったことではない。一方、民生児童委員、保健衛生委員などは女性が活躍している。
- ・男女共同参画は、男女が全く同じになることではないので、女性の特性、男性の特性を活かすことは大切
- ・自治会とその他の役員が連携しているかが大切で、女性役員の話を自治会で聞く機会を設けることから始めてみては。
- ・長い歴史の中で、「〇〇の長」ということに、女性は苦手、経験がない。男性に任せればよいという女性の考えを変えることも重要
- ・今、活躍されている女性を自治会側に引き込んで連携を。女性は意識を変えて、自治会は運営や役割の仕組みを見直し、女性を含め誰もが参加しやすいように仕組みづくりを考える時期では。

②男女共同参画の取組の実例発表

【吉見地区自治振興会、梶原自治会の取組…荒木裕一さん】

自治振興会での取組

- ・平成21年度から3年かけて各自治会の規約改正等を行い、女性登用を図る。全自治会の副自治会長に女性登用。平成24年度には女性自治会長も誕生
- ・男女共同参画セミナーによる啓発等実施
- ・防災活動での女性の関わりを見直し
- ・男女共同参画推進連絡会の設置し、スローガンを幟で掲出
スローガン「参加しよう 男女で協力 自治会活動」

自治会での取組

- ・平成20年から男女共同参画推進員を設置。そして女性グループが結成される。
- ・女性グループが自治会行事の企画・運営に携わるほか、女性の意見を反映させる仕組みができています。
- ・公民館委員の半数を女性が担う。
- ・自治会の様々な方針を検討する場には、必ず男女が参加
- ・多くの方の意見を反映するため、自治会アンケートでは各家庭2部とし、男女の意見を収集したり、18歳以上の自治会員を対象にしたりするなど、自治会の重要な課題をすべての会員に認識してもらう。
- ・仕事のマニュアルづくり、経験者によるフォロー体制を設けることで、安心して役員に就ける。

◎男女共同参画に取り組んでこられた歴代の自治会活動を引き継ぎ、持続可能な自治会運営を目指す。

【丹波市市島町市島自治会…荻野美恵子さん】

- ・男性は「男だから」と背伸びをさせられ、女性はしいたげられて、お互いに「しんどい…」 →男女共生教育、男女共同参画へ
- ・姑にあなたはけがれているから子どもの宮参りに行ってはいけないと言われたことなど、地域の風習などの見直しの必要性を感じていた。姑個人が悪いのではなく、過去から引き継がれてきたものが悪い、これを良くしていくには個人では限界があることに気がついた。このような思いを持つ中で、役員の話があり引き受けた。
- ・自治会活動で人や地域とつながり、点ではなく線となるよう若い人たちに思いをつなぎたい。

③意見交換

- ・行事等、女性も自治会にかかわる風土があり、役員を依頼できそうな候補者ができる。
- ・役員依頼時に自治会長をはじめ周囲のサポート体制を伝え、安心感を持ってもらうことが重要
- ・自分が住みよい地域になる活動したい。みんながそう思えば、みんなが住みよい地域になる。
- ・この先もお世話になる地域の役に立ちたいと思い役員を受けた。
- ・男女共に若いときから行事に参加し、地域に愛着を持ってもらうことが、自治会活動のかかわりやすさにつながる。
- ・女性だから力仕事は無理と決めつけず、できる役割を考え、みんなが参加できる方法を検討することが重要
- ・自治会長をはじめ地域のみなさんの熱意が人を動かす。
- ・今は地域づくりが難しい時代、みんなの力をあわせて、地域を盛り上げ、地域のつながりを強めることが大切。

④参加者アンケートから（抜粋）

【女性参加者】

- ・今まで生きてきた中で当たり前とされてきたこと、当たり前と思っていたこと、その中に間違いがたくさんあることを再確認
- ・地域を盛り上げるポイントは、「子ども」「ファミリー世帯」「女性の力」
- ・自治会活動に女性が大いに参画していくべき、そのためにも、組織づくりの見直しが必要
- ・活動内容や役割を柔軟に、誰もが参画しやすい雰囲気づくりが重要
- ・仕事をしながらでもできるやり方、仕組みを考える必要がある。
- ・特に高齢の方が意識改革をしないと、若い世代や女性が自治会活動に入って力を出すことができない。
- ・『誰かが』ではなく、『私が』が大切
- ・自治会長の仕事をマニュアル化することも重要

【男性参加者】

- ・古い考えにとらわれず、新しい世界を開くには女性の参画は絶対に必要
- ・女性が参加する事で今までなかった事や発想が出てくる。
- ・女性も参加しやすい環境、活動内容に変更することが重要
- ・女性の意識を変える必要がある、女性が参加してこそその協働
- ・これからの自治会運営は、自治会内のコミュニケーションが重要

- ・女性の参画に向けて、パートナーの協力が大変重要
- ・男性リーダーの意識改革、柔軟な発想が必要
- ・女性役員登用に向け声掛けや意識を高める必要
- ・年代別、男女の考え方に差がありすぎる。
- ・現行の規定をくつがえすことも大事。
- ・まず、規約や制度をつくることからスタートしては
- ・少しずつでも変えていく事が重要
- ・男性中心の自治会運営より、男女が協力した自治会運営の方が住民にとって参加もしやすい。より良いものになると感じる。
- ・区長として自治会住民の意識改革に向け、きっかけ作りを模索したい。
- ・女性役員を選出する事の大切さを感じた。私も何かしら協力してみたい。
- ・いろいろな、気づきをいただく貴重な機会となった。

